

7月の星空まっぷ

「7月中旬、午後8時頃に見える星空」
今年の梅雨、何だか変だね。梅雨入り、梅雨明けのイメージがずれてる。最近よく耳にする、「気候変動」とか「異常気象」の現れなのかな!? でも、夏の星たちは、必ず出番を待ってるよ!

ハイイ。7月は何たって、七夕祭りだよ。ホミリー、天の川や星空を見上げて、短冊に願いごと書いて、竹竿に飾るんだ!!

夏の大三角と

七夕伝説!

七夕祭りは7月7日、日本の伝統行事の一つだね。各地の商店街などで賑やかに七夕祭りが開催されている。この七夕祭り、中国から伝えられた伝説と、もともとあった日本の伝説がまじりあって、今に伝えられる日本の伝統行事になっているんだ。

その伝説の世界が、7月の星空に広がっている。では、1年に1度しか会えないと言う七夕伝説の「おりひめ」と「ひこぼし」の星は、どこにあるだろう。東の空を見上げてみよう。そこに3つの明るい星を見つめることができる。この3つの星を結びと、これが夏の大三角。その内の2つの星、こ座のベガが「織姫星」、わし座のアルタイルが「彦星」だ。

もう一つの明るい星は、はくちよう座のデネブ、天の川に大きく羽を広げる白鳥の尻尾に輝く星だ。では、どうして織姫と彦星は、天の川を隔てて向き合っている、1年に一度しか会えないのだろうか!? (右上へ)

N7F

2025.7

星爺 (ほしじい)

=天の川にまつわる三

織姫星と彦星の物語!!

織姫星と彦星の2つの星の伝説は、中国で生まれ、日本や韓国、ベトナムなどに伝えられている。中国では、カササギという鳥が天の川に橋を架けてくれる。でも、ベトナムではカラスだったり、日本ではカササギは出て来ない。

そして、働き者の織姫と彦星、結婚したとたん、なまけ癖が出てしまったようで、織姫は機を織らず、彦星は牛の世話をしなくなってしまった。そんなことから、二人は天の川の両岸に引き離され、1年に1度、7月7日(七夕の日)だけ会うことが許されたそう。でも雨が降れば二人は会うことができないうね。悲しいお話だけど、梅雨の時期らしい伝説だね。一説に、この梅雨の雨は、二人の嘆きの涙らしい。梅雨の期間の長さは、二人の嘆きの深さを表しているのかもしれないね。

今月の流星群はこれ!

◎みずがめ座δ(デルタ)南流星群
◎やぎ座α(アルファ)流星群
どちらも極大日は7月30日。7月中旬から8月中旬にかけて出現する流星群なので、気長に観察してみよう。

【星空まっぷの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を手元に、北を見る時はまっぷをくると回して「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を手元にもってきて、頭の上に掲げて見上げてね!

- ◎ 1等星以上
- 3等星
- 2等星
- 4等星以下

南S

【黄道】

天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道

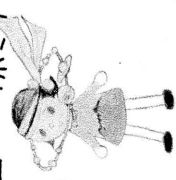


ぼくは「星ぼう」

カシオペア座

天の川

わたし「ホミリー」



はくちよう座

おりひめ星

こ座

アルタイル

わし座

はくちよう座

アルタイル

わし座

はくちよう座

アルタイル

わし座

はくちよう座

アルタイル

わし座

はくちよう座

アルタイル

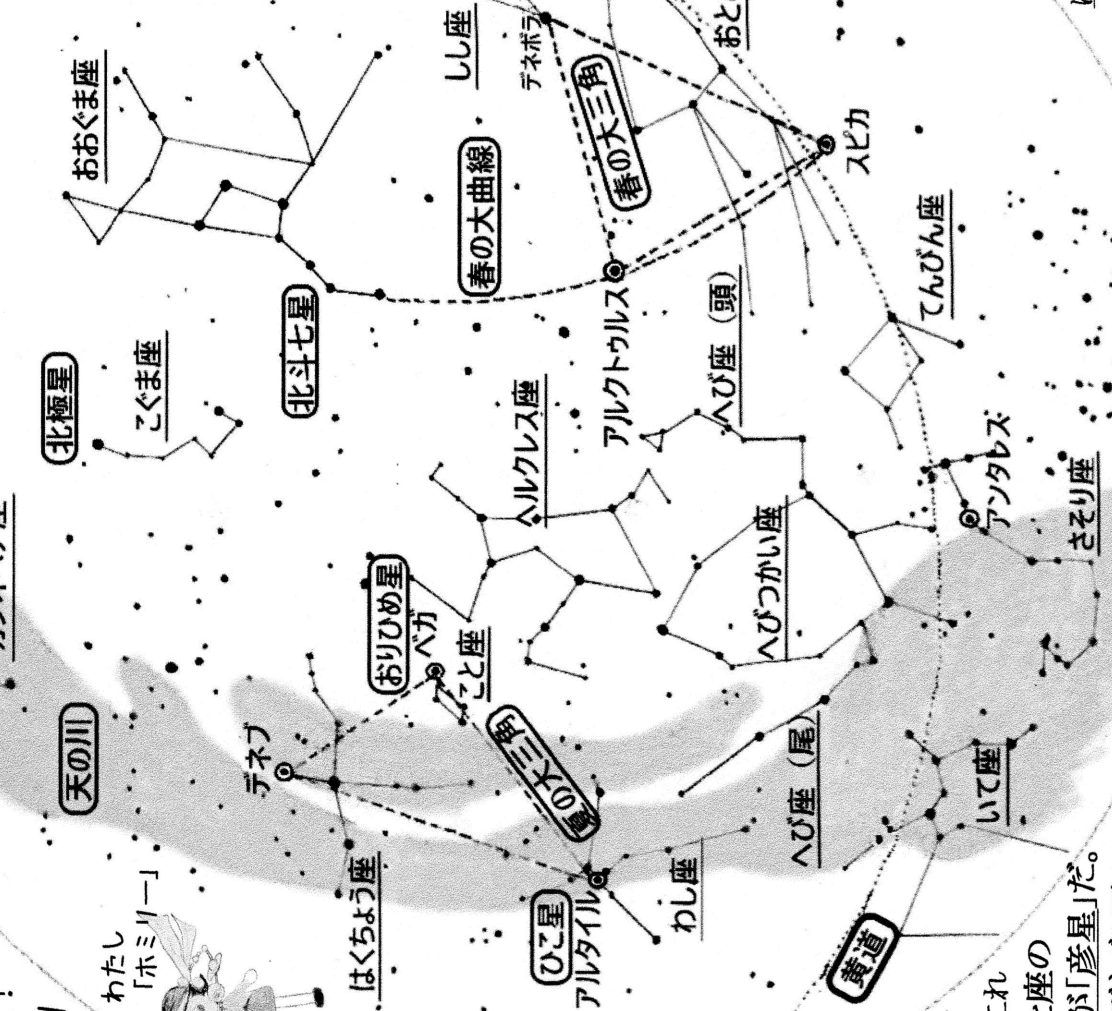
わし座

はくちよう座

アルタイル

わし座

新暦の七夕 7月7日
旧暦の七夕 (伝統的七夕) 今年8月29日
月遅れの七夕 8月7日



火星

レグルス

しし座

デネボラ

おとめ座

スピカ

てんびん座

アンタレス

さそり座

いて座

はくちよう座

アルタイル

わし座

はくちよう座

アルタイル

わし座